

各位

株式会社浅沼組

国土交通省 「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」 試行結果について

当社開発中の“**Ai-MAP SYSTEM**”が国土交通省の進める「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」の試行対象技術として採択され、作業所において試行実験をしてきましたが、この度国土交通省より試行結果が公表されましたのでお知らせいたします。

試行作業所：H30・31 国道 51 号神宮橋架替鹿嶋側橋梁下部他工事 作業所

試行技術：“**Ai-MAP SYSTEM**” Ai-TEC の特徴

- ① 通信システムの利用による現場生産管理の実施と効率化を促進。
- ② 端末機によるコミュニケーション機能の活用で、動画、静止画位置情報等のデータをクラウドに蓄積できます。複数人との会話が可能であり、迅速な意思決定を補助します。
- ③ 蓄積したデータは、AI（人工知能）解析の学習データとして活用します。GPSヘルメットによる稼働状況計測（場所打ち杭工）
- ④ 国交省による新型コロナウイルス感染症対策の「建設現場の遠隔臨場に関する監督・検査試行要領（案）」への適用技術としての検証を継続中です。

対象テーマ	評価
データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術	B

（評価はA～Dの4段階）

B：試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される

今後は、他の開発中技術とともに検証・分析を継続し、事業化に向け推進していく予定です。



コミュニケーション型通信システムを活用した情報収集（イメージ図）

